

## 会員の皆さん、おめでとうございます!

### 令和2年 加古川市功労者表彰 受賞

【固定資産評価審査委員会委員として税務行政の推進に貢献】志方 紀久 様 (志方司法書士事務所 代表)

【食肉公社理事長として産業の振興に貢献】松岡 勝昭 様 (夕き峰 代表)

#### 受賞者「よろこびの一言」



加古川市固定資産評価審査委員会の委員として12年間の活動を通じ、このような賞をいただきありがとうございます。司法書士の先輩から引き継ぎ、主に固定資産税の評価替えの際、申し立てがあれば審査を実施してきました。多いときは1年で10件近く審査したこともあり、3人の委員全員で数回現地調査へ行く際には、全員の日程を合わせるため、自分の仕事を調整することもありました。本業と並行しながら委員を務めるのは大変な時期もありましたが、皆様のお役に立てたのなら嬉しく思います。

志方 紀久 さん

司法書士として33年目、企業関係の手続きが中心ですが、最近は相続税法改正で基礎控除額が下がったこともあり、相続関係の相談も増えています。加古川地域は、住宅や宅地並みに課税される農地を所有し、控除額を超える場合が多いのですが、きちんと相続税申告を行い、所有権移転登記もしっかりとされる方が増えています。

この度、最長限度一杯の任期を務めた委員を次の世代に引き継ぎました。司法書士会播磨支部の中では年長の部類になってきましたが、頼もしい次の世代にもどんどん活躍してもらうため、その規範となれるよう、より一層励んでまいりたいと思います。



周りの皆様に助けられ、お世話になりながら（公財）加古川食肉公社理事長を18年間務めることができ、このような賞をいただきありがとうございます。

私は、行政との橋渡し役として、業者の方々や従業員の皆さんとコミュニケーションを大事にしながら、今日まで務めてまいりました。

松岡 勝昭 さん

平成13年に、私が理事長になった年は、国内でBSE（牛海綿状脳症）が発生し、牛肉の売上が激減した時で、真っ暗なトンネルに入ったような先が見えない状況になり肥育農家をはじめ食肉業界全体が大変苦勞したことを思い出します。

本業の食肉卸小売業（マツオカフーズ㈱）は、既に息子に譲っておりますが、今は新たな販売先を開拓しようとしても、既存販売ルートが強固でなかなか入り込む事はできません。これからは、商品開発に力を入れ、高付加価値商品を販売するなど工夫をしていかなばならないと思います。

そして、趣味としている牛・羊・鶏等の飼育を今後も続けられるよう、牛肉を食べて、元気な体を保ち長生きしたいと思います。

普段から人との出会い『一期一会』をととても大切にしていますが、お会いしなくても思い出していただけるような存在になれるよう、まだまだ精進してまいります。